

平成24年度 エコポリス板橋環境活動大賞(IEAA) 表彰式



【最優秀賞】

- ・ サンシティ管理組合 [地域環境アクション部門]

【優秀賞】

- ・ 緑のカーテン推進の会 [エコライフスタイル部門]
- ・ 板橋区立蓮根第二小学校 [環境教育部門]

【奨励賞】

- ・ 仲宿睦町会・宙組 [地域環境アクション部門]
- ・ 蓮根緑花友の会 [地域環境アクション部門]
- ・ 見次の会 [地域環境アクション部門]
- ・ 株式会社シルベニア [産業環境アクション部門]
- ・ 志村銀座商店街振興組合 [産業環境アクション部門]
- ・ 社会福祉法人みその福祉会 ケアタウン成増 [産業環境アクション部門]

表彰者概要

①サンシティ管理組合

【表彰内容】

最優秀賞（※地域環境アクション部門・優秀賞から繰り上げ）

【活動名・キャッチフレーズ】

マンション内の武蔵野林・雑木林の緑の維持活動（林内整備と世代交代植樹）

【活動内容】

平成18年9月より、サンシティが所有する武蔵野林・雑木林の状態回復および維持を目的として活動を開始する。主な活動内容は以下のとおり。

- ①武蔵野林の緑の整備維持活動（平成18年～）
- ②雑木林の世代交代植樹（平成19年～）
- ③癒しのスペースの整備活動
 - － 樹齢350年（推定）スダジイの再生保全（平成19年～）
 - － 癒しの楽園の整備（平成23年～）

今後は、植樹した樹木の生育を守るために定期的な下刈りや害虫駆除などを行い、10年後の完全な世代交代まで維持保全をしていく予定。

【特色】

- ・緑の保全・維持活動は専門家のアドバイスを得ながら、住民の手で展開している
- ・7m以上の高木、土留めなどの急斜面の重作業以外は住民の手で行っている
- ・世代交代植樹は、林内の樹木生育環境を整備し現状の景観を失わないよう配慮している
- ・住民のほか、専門学校生・学生・社会人からの参加を募集するとともに、小学校の緑の総合学習に組み入れて展開するなど、幅広い層とともに活動している

【表彰履歴】

- 1999（平成11）年 財団法人 都市緑化機構（国土交通省）
「第19回緑の都市賞建設大臣賞」 受賞
- 2006（平成18）年 一般社団法人 日本森林技術協会（林野庁）
「日林協大賞『緑の森づくり10余年住民ボランティア奮戦記』」 入賞
- 2010（平成22）年 財団法人 都市緑化機構（国土交通省）
「生物多様性につながる企業の緑の100選」 入選

【審査会による評価】

本年度の地域環境アクション部門には16件の応募があったが、審査員5名全員がこの団体の活動を最も高く評価し、地域環境アクション部門の優秀賞に選出した。

活動内容やこれまでの実績はもちろん、その他の項目においても高い評価を得ている。今後の活動にも大いに期待できることから、審査会は満場一致で最優秀賞に該当すると判断した。

②緑のカーテン推進の会

【表彰内容】

エコライフスタイル部門 優秀賞

【活動名・キャッチフレーズ】

緑のカーテン推進活動による地域コミュニティの活性化

【活動内容】

平成19年4月より、自治会の緑化事業としてゴーヤを育てはじめる。その後、温暖化防止に取り組む近隣の8町会・自治会が協働し、活動を発展させている。主な活動内容は以下のとおり。

- ①緑のカーテン推進活動
- ②盆踊り大会・ゴーヤパーティーの開催
- ③区事業「緑のカーテン見学ツアー」への協力
- ④8町会・自治会合同での防災訓練・防犯活動の計画と実施

今後は、地域での環境サポーターとして情報発信を目指すとともに、弥生集会所を近隣住民の一時避難所として機能するよう整備したいと考えている。

【審査員による評価】

緑のカーテンづくりにとどまらず、地域ぐるみで活動することによってコミュニティを活性化させ、相乗効果を生み出している点が評価できる。

③板橋区立蓮根第二小学校

【表彰内容】

環境教育部門 優秀賞

【活動名・キャッチフレーズ】

蓮二の自然で“きらきらすくすく”明るく元気な子供を育てよう

【活動内容】

平成22年4月より校庭の芝生化を計画。また、10年前に設置されたビオトープと連携させることによって、環境教育のさらなる充実を図っている。主な活動内容は以下のとおり。

- ①委員会による定期的なビオトープの観察および広報活動、芝生の剥離箇所への移植活動やビオトープの清掃
- ②保護者・OBなどによる「ビオトープをつくろう会」と連携した、ビオトープの維持保全や打ち水、野鳥観察会などの実施
- ③毎週土曜日の午前、学校支援地域本部内の組織である「芝生見守り隊」とともに、芝刈りや雑草取りを親子で実施
- ④各学年の総合学習の時間に、芝生とビオトープを活用した学習の実施

今後は、E S D（持続発展教育）の教育活動に焦点を当て、環境教育活動の推進を進めていきたいと考えている。

【審査員による評価】

学校と地域住民が連携して環境教育に携わっており、他の活動団体にとって模範となる好例のひとつといえる。

④仲宿睦町会・宙組

【表彰内容】

地域環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

宙組は 心和ます 花づくり

【活動内容】

平成12年に「仲宿千年広場」が開園したのを機に、町会の中から有志を集めて団体を設立。区の「地域が作る公園制度」「花づくりグループ支援事業」に加わり、助成金を利用して広場の清掃や花壇の手入れなどを行っている。主な活動は以下のとおり。

- ①毎週一回以上の広場清掃
- ②年間を通した草花への散水、除草、施肥、害虫駆除など
- ③春と秋に区より配布される花の苗の植替え

今後は、町会内の遠くに出掛けられない方へ春秋の花見のチャンスをPRしていきたいと考えている。

【審査員による評価】

花づくりに対する熱意がおおいに感じられる。また、季節の花や珍しい花が咲いた時は通行人にも見やすい場所に移すなど、より多くの人びとに広場を利用してもらおうと心がけている点も評価できる。

⑤蓮根緑花友の会

【表彰内容】

地域環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

蓮根緑花友の会

【活動内容】

平成11年、にたば橋児童遊園の草花の管理と清掃活動を開始した。区の「花づくりグループ支援事業」や「地域が作る公園制度」には加盟していないが、地域の環境美化と明るいまちづくりに子どもたちと一緒に取り組んでいる。主な活動は以下のとおり。

- ①児童遊園の草花の管理、清掃活動
- ②蓮根第二小学校で行っている全校一斉ごみ拾い集会への参加
- ③同小学校が芝生化した校庭の芝刈り
- ④同小学生との花苗の植え替え
- ⑤地域イベントへの積極的な参加

今後は、活動の輪をもっと広げ、多くの仲間と地域の環境美化に取り組んでいきたいとのこと。

【審査員による評価】

日々の清掃や花づくり活動の他にも、地元の学校や自治会の活動に積極的に参加しており、地域への貢献という点において大いに評価できる。

⑥見次の会

【表彰内容】

地域環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

できることからしていく 見次の会

【活動内容】

平成14年に団体を設立。区の「花づくりグループ支援事業」に加わり、助成金を利用して公園内の花壇の手入れなどを行っている。主な活動は以下のとおり。

- ①見次公園の花壇づくり
- ②見次だよりの作成
- ③野鳥の観察
- ④見次公園で野外コンサートを！（計画中）
- ⑤腐葉土づくり

「見次だより」とは見次の会が独自に発行している広報のことであり、季節の草花や野鳥などを写真とともに紹介している。平成24年12月現在、75号まで発行されている。今後は、池があり野鳥が集うこの公園を未来の子供たちに残していくため、精一杯頑張っていきたいと考えている。

【審査員による評価】

アンケートの実施、見次だよりの発行、野外コンサートの計画など、他の団体と比べて多様な活動を展開している点が評価できる。

⑦株式会社シルベニア

【表彰内容】

産業環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

できることから コツコツと eco-eco マネジメントをする！

(Practice the eco-eco-management, steadily and diligently!)

【活動内容】

平成18年、水道光熱費やOA用紙の使用量などのデータ管理を目的として板橋エコアクションの認定を獲得、翌年には東京都環境局地球温暖化防止ネットワークの省エネ診断を受診し、より実利のある環境マネジメントを心がけている。主な活動は以下のとおり。

- ①貴金属イオンの回収効率を高め、資源の節約を図る
- ②金属屑の分別を推進し、リサイクル効率を向上させる
- ③廃棄物の分別を進め、段ボールや木製のパレットなどの再利用化を図る
- ④第三工場の照明機器をすべてLED化する

板橋エコアクション2008の活動プログラムに基づいた環境活動を実践しており、平成24年度のレポートではレベルC（最高レベル）の評価を得ている。今後も社員一同、環境に資する活動を継続して実践していくとのこと。

【審査員による評価】

板橋エコアクションの活動レポートにおいてレベルCを獲得しながらも、環境マネジメントのさらなる徹底を心がけている点が評価できる。

⑧志村銀座商店街振興組合

【表彰内容】

産業環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

LED街路灯、ソーラー対応型LED街路灯及び放送設備の設置事業
ー地域連携に基づく安全安心の環境にやさしい商店街づくりー

【活動内容】

平成16年に板橋区が志村坂上駅周辺バリアフリー促進地区整備構想を策定したのを契機に、環境にやさしい商店街づくりの一環として街路灯をLED化するなど、「安心・安全の環境対応型まちづくり」に先導的に取り組んでいる。主な活動は以下のとおり。

①環境にやさしい街路灯（LED化）

ー 従前の街路灯と比較し、57.4%の電力削減に成功

②安全安心のまちづくりへの貢献

ー 非常時でも稼働するソーラー発電・蓄電設備の導入
ー 防犯カメラの設置 ほか

平成24年度の「第8回東京商店街グランプリ」において優秀賞を獲得した。今後も、地域の方々に親しまれ、支持されるような地域づくりに取り組んでいきたいとのこと。

【審査員による評価】

区の中でもいち早く街路灯のLED化を進めており、環境にやさしい商店街づくりの好例といえる。また、整備後に町会・行政・警察・消防・サンバチームで一体となってイベントを開催するなど、地域を元気づけようと奮闘している点も評価できる。

⑨社会福祉法人みその福祉会 ケアタウン成増

【表彰内容】

産業環境アクション部門 奨励賞

【活動名・キャッチフレーズ】

太陽光を考慮したコージェネシステムの導入

【活動内容】

平成13年の開設当初より、太陽光発電設備、雨水再利用設備、ガスで電気とお湯を作るコージェネシステムを導入し、省エネを意識した運営を継続。また、開設10年を迎えた昨年には、新たに太陽熱利用給湯システムを取り入れたコージェネシステムを導入した。主な活動は以下のとおり。

①コージェネシステムによって利用者の入浴時に使用する電力を大幅に削減し、さらに太陽熱給湯システムと組み合わせることで、省エネ効率のさらなる向上を図る

②ごみ廃棄量の削減を図るため、食品資源リサイクル機器（生ごみ処理機）を導入

③緑のカーテンの実施

今後も、地域福祉の中心的存在を目指して施設運営を行うなかで、省エネ・環境活動にも積極的に取り組んでいきたいとのこと。

【審査員による評価】

エネルギー使用状況の「見える化」を実現し、システムの運転状況を最適化する管理体制をとっているなど、きめ細かい施設運営を進めている点が評価できる。